

◆計画

区の目標 (何をめざすのか)
区の魅力「つる魅力」の創造や多様な交流により、新たなつながりが生まれ、区民がお互いに支え合い、だれもが「住んでよかった」と笑顔でいえるまちの実現

区の使命 (どのような役割を担うのか)
<p>区民の信頼に応え暮らしを支えること。 区民の自主的な地域運営を支援すること。 区民協働による取組みを推進すること。 区の魅力を向上させること。</p>

平成29年度 区運営の基本的な考え方 (区長の方針)
<ul style="list-style-type: none"> ・世代を問わず鶴見区への愛着を深めるため、地域と連携した各種イベントの開催や区の歴史や誇り、まちの魅力発信に取り組む。 ・地域社会全体で支え合うコミュニティづくりをめざし、地域活動の活性化と自立的な運営に向けた支援を行う。 ・子育て世代や年少人口の比率が高い当区の特性に対応するため、安心して子育てできる環境づくりや、次世代を担う子ども・青少年が将来への夢を膨らませ、健やかに成長できるよう、家庭・学校園・地域と連携した取組みを進める。 ・災害に強い安全安心のまちをめざして区民ひとりひとりが自助・共助の意識を高め、防犯・防災・交通安全の取組みを進める。 ・だれもが健康で安心して暮らせるように、高齢者・障がい者にやさしいまちづくりや、区民の生活習慣の改善・健康増進に取り組んでいく。 ・窓口サービスの向上に取り組む、区民にもっとも身近な行政として、区民から信頼される区役所づくりを進める。 ・区民が求める情報を確実にわかりやすく提供できるよう広報紙・フェイスブック・HP等さまざまな媒体を活用し、情報発信に取り組む。 ・行政財産目的外使用料及び広告料について、前年度実績額以上の確保をめざす。

重点的に取り組む主な経営課題 (様式2)

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題1 魅力あふれるまちづくり】 地域、関係機関、団体と連携・協働し、地域の活性化や鶴見区の魅力向上を図り、賑わいを創出する。</p>	<p>【1-1 つる魅力(つるみりよく)の創造】 区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちに魅力を感じ、愛着を深められる取組みを進める。</p>
主な具体的取組 (29年度予算額)	
<p>【1-1-1 魅力発信の取組み】(予算額 6,998千円) 地域やボランティア等と連携・協力して、賑わいの創出や地域の活性化を促進し、文化・芸術に身近に触れることができるイベントを実施するなど、区の魅力向上に取り組む。</p>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題2 地域コミュニティの活性化】 地域活動の担い手の確保や地域活動への参加促進などにつながる地域活動の活性化に向け、支援する。</p>	<p>【2-1 地域全体で支え合うコミュニティづくり】 自律的な地域運営や地域活動の活性化に向けた支援を行う。また、地域活動への関心が低い人たちや地域活動に関わりの薄かった人が地域活動へ参加しやすい環境づくりに向けた支援を行う。</p>
主な具体的取組 (29年度予算額)	
<p>【2-1-1 地域活動の活性化と自律的な地域運営の支援】(予算額 26,625千円) 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。また、地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。</p>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題3 次世代育成に向けたまちづくり】 安心して子育てできる環境づくりを進め、次世代を担う子ども・青少年が健やかに成長できるよう、学校、地域、家庭と連携して取り組む。</p>	<p>【3-2 教育支援】 学校や地域・保護者のニーズや意向を把握し、効果的な学校支援を行える取組みを進める。</p>
主な具体的取組 (29年度予算額)	
<p>【3-2-1 教育支援の充実】(予算額 4,010千円) 学校、地域、保護者の教育に対するニーズに沿った学校支援を行う。</p>	

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4 安全なまちづくり】 区民が安心して暮らせるまちとなるよう、より一層の防犯意識の向上や犯罪を起こしにくい環境づくりを進める。また、災害に強いまちづくりをめざし、自助・共助の意識を高め、区全体の防災対策を進める。	【4-1 街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり】 街頭犯罪発生件数の減少に向け、区民、地域、関係機関、事業所などが連携・協働し、区民のより一層の防犯意識の向上につながるよう区を挙げての啓発活動を推進する。
主な具体的取組（29年度予算額）	
【4-1-1 地域・関係機関と連携した防犯対策事業】 (予算額 6,296千円) 地域実情にあった防犯カメラの設置とともに、防犯プレートや防犯バナーを設置することにより、さらなる犯罪抑止のための取組を進める。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題5 健康で安心して暮らせるまちづくり】 高齢者や障がい者を地域全体で支える仕組みづくりなど、関係機関、団体等と連携しながら地域福祉力の向上を図る。また、区民の健康づくりに向けた支援に取り組む。	【5-1 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域福祉の推進】 区の地域福祉を着実に進めるため、地域福祉活動に関する広報や啓発を行い、人権を尊重し、みんなで支えあう社会づくりの機運を高めると共に、平成27年3月に策定した「鶴見区地域保健福祉ビジョン」に基づき、活動の充実を図られるよう支援する。
主な具体的取組（29年度予算額）	
【5-1-1 地域福祉力の向上】 (予算額 30,746千円) 住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業を進め、地域住民からの相談受付や、生活課題等の解決につなげる。要援護者見守りネットワーク事業と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化を図る。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題6 区役所力の強化】 窓口サービスの向上をはじめ、もっとも身近な行政として区民に信頼される区役所づくりを進める。	【6-1 窓口サービスの向上】 快適で利用しやすい区役所となるよう、窓口対応の向上に取り組むとともに、待ち時間の短縮をめざし、業務プロセスの見直し・改善をすすめ事務の効率化を図る。
主な具体的取組（29年度予算額）	
【6-1-1 快適な窓口サービスの提供】 (予算額 44,034千円) 窓口サービス課市民サービス向上検討委員会を中心に、窓口サービス課内の連携(住民情報・保険年金)だけでなく、保健福祉課を含めたさらなる連携強化を進め、利用者の視点にたった窓口サービスの提供を図る。	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
歳入の確保(諸収入確保の推進)	行政財産目的外使用料及び広告料について、庁舎内における壁面などの有効スペースを活用し広告主の募集を行い、平成28年度実績額以上の確保をめざす。

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

だれもが「住んでよかった」と笑顔でいえるまちの実現に向け、区民の信頼に応え暮らしを支えらるとともに、自主的な地域運営の支援、区民協働による取組みの推進、区の魅力向上に取り組んだ結果、具体的取組の業績目標は概ね達成できており、順調に進捗していると認識している。

魅力あふれるまちづくりでは、区の歴史やまちの魅力を広める取組みとして、いわゆるご当地検定である「つる魅力検定」を初めて実施した。想定を超える応募者があり、会場を増設して対応したほか、子どもを対象とした検定も行い、幅広い世代に区への愛着を深める機会を創出することができた。

次世代育成に向けたまちづくりでは、幼稚園・保育所等情報フェアを開催した。入園前に保護者が幼稚園等の施設に直接、質問や相談をすることにより、施設選びの一助になる機会となり、保護者の不安や負担の軽減化に寄与することができた。

今後は、高齢者や現役世代、そしてこれからの社会を担う子どもたちが、地域や身近な人々と安心して暮らすことができるまちの実現をめざしていくこととする。その中でも特に、年少人口の割合が市内で最も高いという特性を活かせるよう、子どもを意識した取組みを進めていきたい。

解決すべき課題と今後の改善方向

(地域コミュニティの活性化)

中間支援組織と連携し各地域の広報活動支援を行っているが地域活動への理解が進んでいないと感じている区民の割合は半数にとどまっている。既存の広報媒体の活用に加え、地域活動協議会の認知度向上のため29年度から取り組んでいる新たな手法TSURUMIC AWARDを継続し、幅広い世代への効果的な情報発信を行っていく。

(健康で安心して暮らせるまちづくり)

各地域に配置されている地域福祉コーディネーター(つなげ隊)や有償ボランティア制度(あいまち)の認知度が低いいため、イラストを使って分かりやすく解説したポスター・チラシを作成し掲示板への掲示や配布を行い、支援を必要とする人に伝わるよう周知を行っていく。